

令和元年度奈良先端科学技術大学院大学 同窓会総会（第1回）議事要旨

日 時 : 令和元年11月10日(日) 11時10分～11時25分
場 所 : 事務局棟2階 大会議室
出席者 : 清川 清 会長 (情報・H6年度入学)
小林 未明 副会長 (バ`イ`・H6年度入学)
井上 明久 副会長 (物質・H10年度入学)
秋貞 盛人 理事 (バ`イ`・H11年度入学)
上岡 義弘 理事 (物質・H21年度入学)
Raula Gaikovina Kula 監査 (情報・H20年度入学)
駒井 章治 顧問 (バ`イ`・H7年度入学)
垣内 喜代三 顧問 (理事・副学長) 外 16 名
陪 席 : 中野教育支援課長 宮本教育支援課課長補佐

議 事 :

議事に先立ち、清川会長からの挨拶及び本会役員の自己紹介を行った。

(前回議事要旨の確認)

1. 前回理事会の議事要旨の確認

資料1に基づき、平成30年11月11日(日)に開催された平成30年度第2回同窓会総会議事要旨(案)について、確認した。

(審議事項)

1. 決算について

清川会長から、資料2に基づき、本会の役員の交代について説明があり、審議の結果、原案を一部修正のうえ、承認した。

[一部修正の内容]

- ・ 支出の部の「ホームページ改修費用」を「会員管理システム「パルサイン」導入費用」に修正すること。

2. 会計監査について

Raula 監査から、資料3に基づき、平成30年度会計監査について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

3. 活動計画について

清川会長から、資料4に基づき、活動計画について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(主な意見等)

- ・ 年度末までに令和元年度新入生の加入率60%以上を目指す。加入率の上昇とともに、同窓会活動も更に活性化させる。それに対応するためにも同窓会として事務局を担当する職員を来年4月(目途)までに雇用したい。

4. 役員の交代等について

清川会長から、資料5及び6に基づき、役員の交代等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

5. 同窓会会則の改定について

清川会長から、資料7に基づき、同窓会会則の改定について説明があり、審議の結果、原案を一部修正のうえ、承認した。

あわせて、修了者に関しては会費の納入をもって、その他奈良先端大と在籍関係がある（あった）者に関しては会費の納入を含む入会の申し出と理事会での承認をもって、正会員になれる旨を確認した。

上記のとおり、総会において、同窓会会則の改正趣旨の了解が得られたことから、同会則上の文言については理事会に一任することを確認した。

[一部修正の内容]

- ・ 準会員の資格は、同窓会会員ネットワークシステムへの登録の有無とは切り離すこととし、修了者を含む本学と在籍関係がある（あった）者についてはすべて準会員に位置付けることとし、準会員を定める規定から「同窓会会員ネットワークシステムへの登録を行った者」を削除する。

(報告事項)

1. 活動報告について

清川会長から、資料8及び9に基づき、活動報告について報告があり、種々意見交換があった。

(主な意見等)

- ・ 同窓会の活動をPRするためにFacebookやTwitterなどのSNSを積極的に活用してみてもどうか。
- ・ 現在は、大学の終身メールアドレスシステムと同窓会会員ネットワークシステムの間で情報を共有できるようになっているが、過去の修了生の情報共有については個人情報保護の観点から個々に了解を得る必要がある。研究室単位で歴代の修了生情報を管理していることがあるので、研究室を通じて両ネットワーク間の情報共有に関する協力を得ることはできないだろうか。
- ・ 同窓会会員ネットワークシステムを利用するための本人確認（認証）として、大学の終身メールアドレスを活用しているが、過去は在学時のメールアドレスと終身メールアドレスが異なっていた時代もあり、アドレス自体が分からない修了生もいると思う。そういったところをケアすればシステム登録数の増加につながるかもしれない。
- ・ 先日、バイオサイエンス研究科修了20周年の同窓会があり、大学全体の同窓会からの経済支援を受けていたが、経済支援をする場合は、会費納入や同窓会会員ネットワークシステムへの登録の周知を義務化するというのはどうか。

(その他)

- ・ 出席会員から、本学教員による酒気帯び運転での死亡事故にかかる懲戒処分に関し、社会通念上、軽いとの疑義を持ったので、同窓会として大学に問合せてもらえないかとの意見があった。

以上